

SAYAMA-EN

さやま園



Journals

カルミア



Vol.
226

2025.Aug.



特集

おもいのツボ……………2

新入職員紹介……………3

運動会……………5

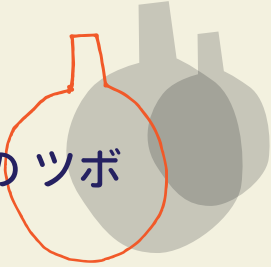
連載

にやりほっと……………9

對馬のさやまアルアル言いたい〜…11

ギャラリー……………13





おもいのツボ

「おもいのツボ」は毎号さやま園の職員がその時自身のツボにきた出来事や感じたことを書く企画です。

入職して2年半、看護師として利用者の皆さんと関わる中で多くのかけがえのない経験をさせていただきました。言葉や表情の奥にある思いをくみ取りながら一人ひとりに寄り添い、安心して過ごせるよう誠意をもって関わることを心がけてきました。

さやま園には、他職種の方々と連携しながら共通の目標に向かって一丸となり支援できるチームワークがあります。職種は違っても共通の目標に向かって取り組める環境にいられることは大きな喜びです。「ありがとう」という言葉を利用者さんからいただいた時、そしてみんなの笑顔が見られた瞬間、心から幸せな気持ちになります。それは私にとって最高の時間・宝物です。

さやま園での仕事を通して、人と向き合う大切さと心で通じ合える喜びを学びました。関わらせていただいたすべての方に心から感謝しています。

みんなでつくろう！ げんきで・えがおで・たのしいさやまえん！

医務室看護師 中條幸子

今年度もさやま園に

新しい職員が仲間入りしました。

個性豊かな皆さんの自己紹介を

ぜひご覧ください。

質問

- 1 前職はどのようなお仕事を
されていましたか？
- 2 どうしてこの仕事を
選びましたか？
- 3 実はこんな特技があります😊
- 4 一言コメント
(自己紹介や抱負など)

1 同法人の障がい者通所施設の生活支援員

主な仕事内容

- ・利用者の特性にマッチする作業の新規開拓のための営業
- ・一般就労を目指す利用者さんの就職に向けた支援
(インテーク〜フォローアップ)
- ・地域のプロアスリートとの繋がり構築と、それを活かした障がいのある
方の活躍の場の拡充及び、肯定的理解に向けた啓発的活動の実施

2

障がい福祉の職に就いてから、初めて仕事を通じて鳥肌が立つほどの感動を味わえる体験が得られました。その感覚は、四半世紀を迎える現在でも変わりません…。

3

頬を手で叩きながら、ザ・ドリフターズの「いい湯だな」を演奏することができます!?(やり過ぎるとほっぺが痛くなるので、最近やってませんが…。)

4

初めは緊張しましたが、今では皆さんと一緒にお仕事ができる事がとても嬉しいです!!こんな私ですが、どうぞ末永くよろしくお願い致します。(^^)/



おくだけんじ
奥田健司
わかばグループ
生活支援員



はらしまの りこ
原島紀子
つくしグループ
生活支援員

1 前職も障がい者入所施設 生活支援員です。

2 以前、高齢者施設にて勤務しており、その際、軽度の知的障がいを持った方が入所されてきました。認知症の行動とは違うこだわりを持った特性に興味を持ち、障がいを持った方々の入所施設に転職しました。今まで多種多様な特性を持った方々との関わり合いがありました。その人それぞれの特性をその方の個性として捉え、生活を支援していくこの仕事の楽しさを覚えました。

3 特技はないのですが…。
やりたい!と思ったこと(遊び)はすぐ行動するほうです。

4 「創意工夫」一番好きな言葉です。
前向きな行動や言葉を意識していきたいです。

1 なんやかやデスクワークの仕事をしていまして、
8年前に初めて福祉の仕事につきました。

2 高齢者施設にいたので、障がい分野の仕事につきたいな
と思いました。福祉の仕事を選んだのは、来るであろう親
の介護とか身の回りのことでいろいろなことを知ってそれ
を仕事で役立てたら、となんとも現実的な動機です。

3 横になると5分ぐらいで眠ってしまいます。
なので横にならないようにしています。
特技にはありませんが…。

4 ペースが遅いのが欠点ですが、いろいろなことを覚えたい
と思います。よろしくお願いします。



たかみちの りこ
高地道子
GH
生活支援員



ホールでの選抜リレー



車椅子の人も職員と共に参加



職員対抗！デカパンリレー

5月22日、今年も運動会の季節がやってきました。

近年さやま園の運動会は、年齢や人数、身体機能に合わせて開催場所を2つに分け、それぞれ紅組・白組に分かれて対決をします。紅白の組分けは、運動会の約3週間前に発表されます。当日参加する職員も勿論振り分けられるので、利用者・職員ともに「あなたは何組？」という話題が多く飛び交うのが恒例です。

大玉送り、玉入れ、リレーなどが伝統競技ですが、さやま園でも利用者の高齢化は著しく、競技自体への参加が難しくなっている方もいらっしやいます。＼すべての利用者さんが全員参加で楽しめるものになりたい＼と考え、今年は玉入れをバージョンアップ！可愛らしい傘を用いた「雨傘玉入れ」にすることで、どのような投げ方・スピードでも的を狙いやすくなり、得点率もアップ！大盛り上がりの新競技となりました。

僅差で勝敗は分されましたが、手作りのメダルが全員に授与され、最後はみんな笑顔で幕を閉じました。また来年も名勝負を繰り広げられるよう、身も心も健やかに過ごしていきましょうね！

レ-レ-あがれ！
レ-レ-いれ！





身体機能に合わせた様々な玉入れ

立つ人も!



通常の玉入れ

座る人も!



カゴを低く設置した玉入れ

車椅子の人も!



傘をカゴにした玉入れ

勝敗関係なく、各チームに賞状とみんなに手作りのメダルが渡されました。



アトリエ選抜ルーラー 大玉にタッチして折り返し!



にやりほっと

no.8

職員から寄せられた
「にやりほっと」を
深掘りする企画



エピソード1

【お決まりのやり取り】

What's up!



利用者さんと職員の間では、よくお決まりのやり取りをすることがあります。利用者さんと職員の信頼関係の表れでもあるそのやり取りは、職員もほっこりしたり、利用者さんも安心したりします。

山下職員のお決まりのやり取りの1つに、Kさんとの温かいやり取りがあります。

普段は本棟にいる山下職員ですが、時々作業のため南棟へ訪れると、Kさんがすぐに駆け寄ってきます。「山下さんは何しに来たの?」と聞いてくるKさん。「Kさんに会いに来たんだよ」と答えると「何でKさんに会いに来たの?」とまた質問。そこに「Kさんが好きだからだよ」と答えると「Kさんのことが好きなの!」と思わず笑顔になり、走り回ります。そんな姿を見て職員も嬉しくなりました。

Kさん、いつもありがとう!

エピソード2

【指ハート】



日中活動のアトリエ班では、季節に合わせて装飾を作り、さやま園内を飾りつけています。バレンタインの季節はハート型のオーナメントを作っていました。

アトリエでいつも通りの作業していたTさん、入口職員と指ハートの話題に。親指と人差し指をずらして重ね合わせるようにして「これがハートの形に見えるんですよ」と伝えると、Tさんは「ああ、ほんとだ」とにこやかに真似します。「好きな人によったりするっていいですよ」と言うと、同じ机に座っているTMさんに向かって見せていました。「私にはどうですか?」と聞くと、素敵な笑顔で同じように指ハートを見せてくれました。その可愛らしさに思わず心が癒され、元気をもらいました。

副^{しやま}長 對馬の

さやま アルアル 言いたい〜!

カルミア225号に引き続き、
まだまだ言いたい夜勤あるある第2弾!
16時頃から翌日10時頃まで続く勤務。
これだけ長い勤務時間だと、笑いあり、涙あり、
時には背筋が凍るようなエピソードも!?
職員の想像以上に感情の機微^{きびかい}を解する
利用者皆さんとのエピソードを2つご紹介します。



心を
読まれがち



仕事で落ち込んでいる時に限って、利用者さんが優しい言葉や表情、態度で励ましてくれる。

なにか失敗したり悩んだりした時も、表情には出さない支援員ですが、利用者さんが察するのか？普段からの優しさが身に染みるのか。

夜勤明けには「コーヒー飲んでいったら？」と勧められがち。そのコーヒーは職員が自ら淹れているコーヒーです
けどね。

透視術？

利用者皆さんが寝静まったあとの夜勤お菓子タイム。ちよつと一息つくときに利用者さんが起きてきがち。

背後からそーっと忍びよる影…、突然の「何食べているの!」との声に夜勤者驚きがちなのです。

どうしてこのタイミングで？

透視術でも使っているのか、特殊能力発動です。



さやま園には、利用者さんの作品を展示する
ギャラリースペースがあります。
その様子をご紹介しますページです。



南棟の人たち展

今回の展示は、普段アトリエに
参加していない、作品数が少なく
てなかなか紹介する機会がない、
南棟の利用者さんにフォーカスし
た「南棟の人たち展」。

「えっ！〇〇さんって絵を描くん
だ！」と、いつものあの人の新た
な一面を紹介できればいいと思
い、作品を集めて展示しました。



東條さん

描く絵は全て電車。描いている途中、線
に納得いかないと新たな紙を出し描き直
します。気に入った絵はしばらく眺め、
最高に気に入ったモノは部屋にもち帰
ります。



樋口さん

誰かに向けての手紙のような、
読めそうで解読が難しい文章が
セットで描かれます。



小林 さん

今回この展示がきっかけで、初めて絵を描いてもらったのですが、こんなに色彩感覚溢れたポップな絵を描くなんて！職員も隠れた才能に驚きました。



風間さん

ホールでは職員がちょっと目を離した隙に床に描くことも。慌てて職員も止めますが、このまま描くことができれば、どんな絵が出来るのか見てみたい気がします。



吉田さん 茶漉しで細かくしたパステルを指で着色して仕上げます

職員募集！



さやま園では私たちと一緒に働いてくれる方を募集しています。
ご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームかお電話でご連絡ください。

職種：生活支援員

- 常勤職員（契約社員）18歳～70歳まで 月給¥238,300
シフト制による週休2日（夜勤あり）
 - パート職員 18歳～70歳まで 時給¥1,225～
シフト制（時間相談可） ＊正社員登用あり
- ＊未経験者可（研修が充実しているので安心して働けます。）



さやま園のホームページの
求人に関するお問い合わせ
を選択し、ご連絡ください。

<https://sayamaen.com/new-contact>

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

リクルート担当：みかめ つしま
三瓶・對馬

ボランティアさん募集！

さやま園では様々な活動をしています。
そのお手伝いをしてくださる以下のボラン
ティアさんを募集しています。

作業内容：季節に合った装飾作り

活動日時：平日の13:30～15:30

- ・利用者が余暇の時間に制作する、季節の装飾作りの土台となるものを制作していただける方を募集しています。
- ・活動に入る前に、職員より、活動の流れ等を簡単に説明します。
- ・ボランティアの皆さんには、下絵を描いてもらったり、装飾のパーツを作ってもらったり、利用者が簡単に制作に取り掛かりやすいよう装飾作りの準備をお願いしたいです。

寄付のお願い

依頼品目：消毒用タオル

感染症予防のための園内消毒に使用する布が不足しています。いらなくなったタオルを**手のひらサイズに切ってご持参**いただくと助かります。

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

ボランティア担当：奥山
寄付担当：みかめ つしま
三瓶・對馬

編集後記

今年の夏も暑い日々が続いています。皆さまエアコンや水分補給など熱中症対策は大丈夫でしょうか？カルミアがリニューアルされてから初めての編集後記ということもあり、何を書いたらよいか迷っています。そこで、最近のさやま園の様子を少しだけ書こうかなと思いました。

昨年のカルミアを手にとって頂いた方なら知っているかもしれませんが、行事等含め以前のさやま園の生活に少しずつですが戻ってきました。今年度も行事の規模拡大や旅行の実施と昨年度より更に活動の幅が広がります。利用者さんも久しぶりの事で大変ですが職員も初めて経験する方が多いのでバタバタと走り回る事になりそうです。利用者さんも職員も忙しくて大変だけど楽しい生活がまた始まっていきますね。

広報委員：安藤

発行元：指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者：三瓶達矢

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL：042-391-3275 ・ FAX：042-391-3276

さやま園のホームページ

<https://sayamaen.com>

